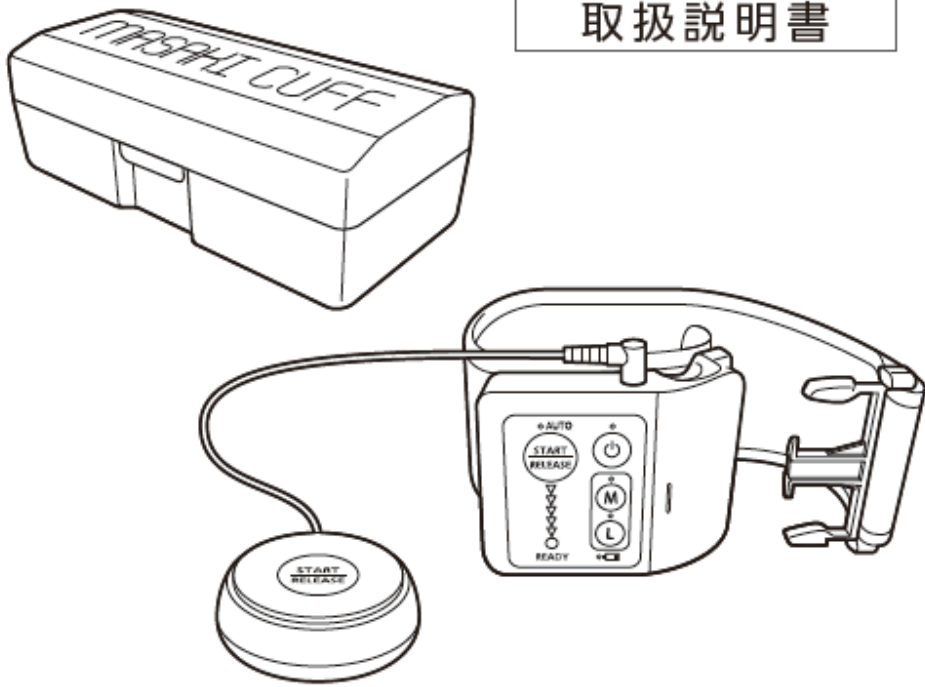


Electric Tourniquet MASAKI CUFF®

取扱説明書



この度は電子駆血帯「マサキカフ®」をご利用いただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、注意事項を守って安全に正しくお使いください。また、必要なときにいつでも本書を読めるように保管してください。

同梱品

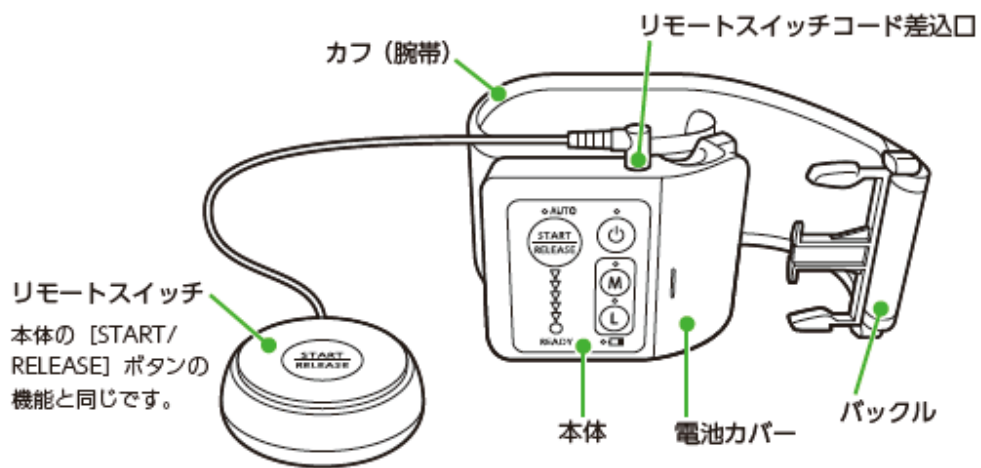
※
本体、リモートスイッチ、収納ケース、化粧箱、お試し用電池2本、取扱説明書(本書)、医療機器添付文書

※リモートスイッチはオプションです

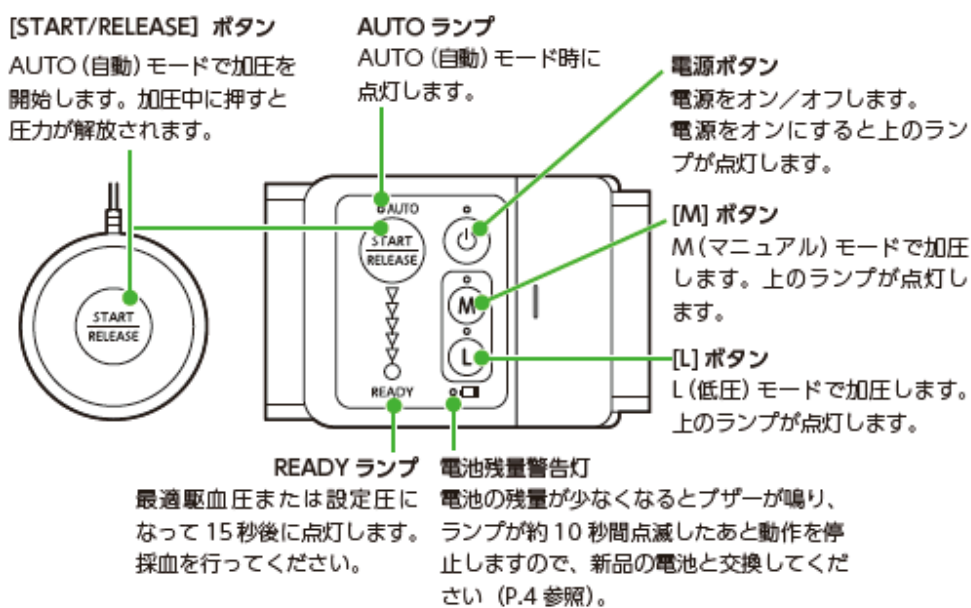
安全上のご注意	2
各部の名称とはたらき	3
ご使用前に	4
ご使用方法	5
保管について	7
保守・点検とお手入れ	7
仕様	7
アフターサービスと保証	8
お問合せ	8

各部の名称とはたらき

本体・リモートスイッチ



操作パネル



安全上のご注意

本製品の誤った取り扱いによる危害や損害を未然に防ぐために、安全上の注意事項を記載してあります。以下の注意事項を守って正しくお使いください。

注意

⊘ 禁忌・禁止

人が傷害を受けたり物的損害が発生する可能性があります。

1. 使用対象 (患者)

上腕または下腿の周囲が170~380mm以外の方には使用しないでください。
正常な加圧ができません。

2. 使用方法・使用上のご注意

- カフ (腕帯) は素肌か薄手の肌着の上に、すき間ができないようにぴったりと、やや強めに巻きます。セーターなど厚手の服は、腕まくりをせずに脱いでからご使用ください。
正常な加圧ができません。
- プラダ (空気袋) の中心部が手のひら側の腕の中心からやや小指側にくるように位置を調整してください。
正常な加圧ができません。
- カフを上腕に巻くときは、肘の関節部にかからないように、肘の内側のくぼみから1~2cm上に巻きます。
正常な加圧ができません。
- 濡れた手で電池交換はしないでください。
感電の危険があります。
- 本体、カフおよび付属品に水をかけないでください。
感電や機器の故障の原因になります。
- 本体、カフおよび付属品の分解・修理・改造は絶対にしないでください。
感電したり、異常動作をしてけがをする危険があります。

取り扱い上のご注意

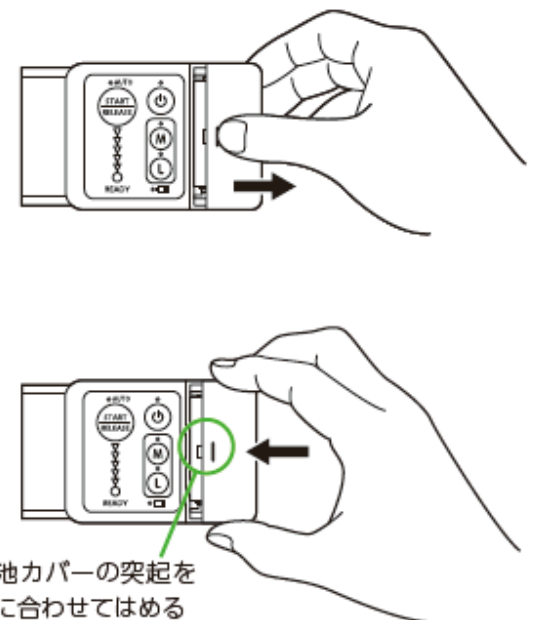
- ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気のない場所で使用してください。
- 傾斜、振動、衝撃などのない場所で使用してください。
- 本製品の廃棄については、地域で定める条例に従って適切に行ってください。

ご使用前に

電池を入れる

※ 充電式電池は電圧のレベルによって正常に動作しない場合がございますので、指定電池をご使用ください。

- 電池カバーを開けるときは、右図のようにスライドさせます。
- 新品の単4形アルカリ電池2本を正しく入れます。電池残量のランプが点灯したら、2本とも新品の電池と交換してください。
- 閉めるときは、本体の溝に電池カバーの突起を合わせてはめ込みます。



電池カバーの突起を溝に合わせてはめる

3つの加圧モード

通常はAUTOモードでお使いください。

Mモード、Lモードは機能をご理解のうえ適切にお使いください。

AUTOモード (自動モード)

本製品によって最適と判定される駆血圧まで自動的に加圧し、その圧力を維持します。

Mモード (マニュアルモード)

本製品の内圧120mmHgまで自動的に加圧し、その圧力を維持します。

Lモード (低圧モード)

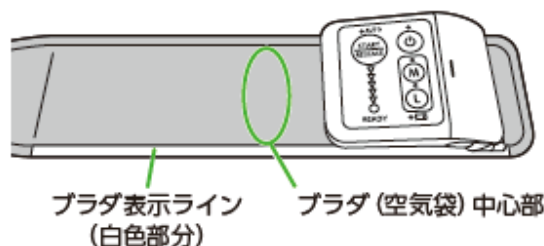
本製品の内圧20mmHgまで加圧します。加圧開始から30分ごとにブザーが鳴りますが、[START/RELEASE] ボタンを押すまで、その圧力を維持します。

ご使用方法

1 加圧部位に装着する

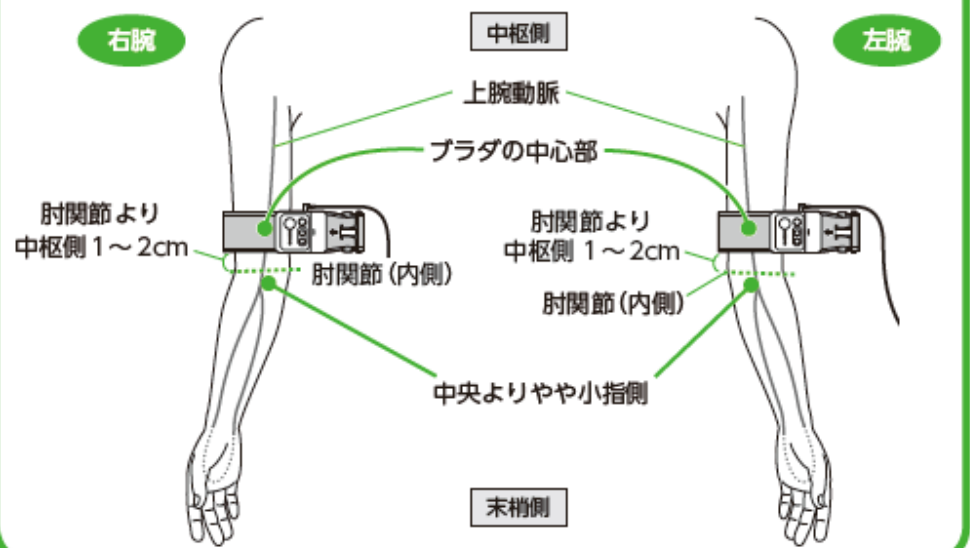
リモートスイッチのプラグを本体の差込口に挿入します。
本体を上腕または下腿に装着します。

- カフ（腕帯）の白いラインはブラダ（空気袋）の位置を示しています。ブラダの中心部が上腕動脈ラインに合うように装着してください。



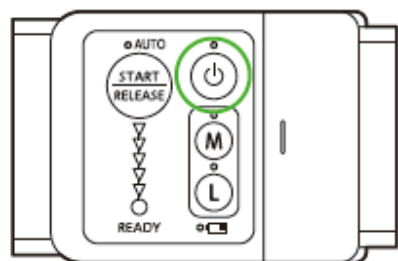
ブラダ表示ライン（白色部分） ブラダ（空気袋）中心部

上腕への装着位置



2 電源を入れる

本体の電源ボタンを押します。
電源ランプ、AUTOランプ、Mランプ、Lランプが点滅後、電源ランプが点灯します。



5

4 加圧部位から外す

電源ボタンを押して電源を切ります。
本体のバックルを外し、加圧部位から本製品を外します。

仕様

販売名	マサキカフ モデル 168A
一般的名称	電子駆血帯 (JMDNコード: 71063001)
医療機器分類	一般医療機器
届出番号	11B1X10022000004
使用目的・効果	穿刺のために、上腕または下腿を加圧して静脈を拡張させることに用いる。
構造および原理	バッテリー電源で、操作パネルのボタンによりエアポンプとソレノイドバルブを制御し、カフのエアバッグを膨張・収縮させます。圧力はCPUのプログラムにより制御されます。
定格電圧	3V 単 4形アルカリ電池 2個
電撃に対する保護	形式: 内部電源機器、程度: B型装着部
消費電流	0.355A
圧力	最大 200mmHg ± 10% (圧力ゲージにより測定)
外形寸法	本体: 幅 79.5 × 高さ 41 × 奥行き 60(mm) (カフ部含まず) リモートスイッチ: 直径 56 × 高さ 22、ケーブル長 800(mm)

保管について

- 水ぬれ、直射日光、高温多湿を避けて保管してください。
- 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意してください。
- 長期間（1か月以上）使用しないときは、電池を取り外してください。

保守・点検とお手入れ

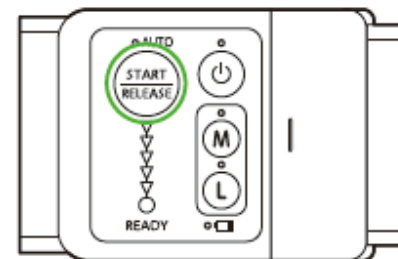
- 本製品の耐用限度は 30,000 回です（自社認証による）。
- 本製品には専門の知識や技術を必要とする保守点検は必要ありません。本製品の性能は、使用した回数、使用方法、保管方法、年数に影響を受けて劣化し、30,000 回を超える使用は禁じられています。
- しばらく使用しなかったときは、使用前に必ず作動すること（電源が入る、加圧するなど）を確認してから使用してください。
- お手入れの際は、乾いた布で汚れを拭いてください。汚れが落ちない場合は、水またはアルコールを少し含んだ布を固く絞ってから拭いてください。
- 本体、リモートスイッチ、カフは洗わないでください。

7

3 加圧する

AUTO モード（自動モード）

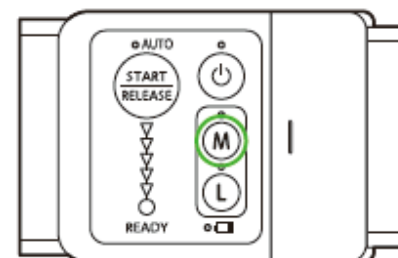
- ① 本体またはリモートスイッチの [START/RELEASE] ボタンを押します。
- ② 緑色の下向き三角のランプが [START/RELEASE] ボタンから READY ランプに向かって流れるように点灯します。
- ③ 最適駆血圧に到達すると一番上の緑色の三角ランプが点灯します。以後、最適駆血圧を保持したまま、3秒ごとに三角ランプが追加点灯し、最適駆血圧到達後 15秒後に READY ランプが点灯しますので、十分な駆血が得られましたら、採血を行ってください。
- ④ 採血終了後、加圧を解放したいときは、本体またはリモートスイッチの [START/RELEASE] ボタンを押します。



※ [START/RELEASE] ボタンを押してから 3分毎にブザーが 2秒間鳴り、9分後にブザーが 2秒間鳴って圧力が自動的に解放されます。

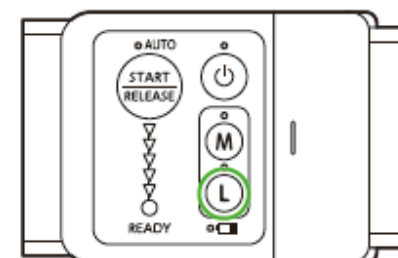
M モード（マニュアルモード）

- ① 本体の [M] ボタンを押します。
- 以降の操作は「AUTO モード」と同じです。



L モード（低圧モード）

- ① 本体の [L] ボタンを押します。
- ② 30秒後に READY ランプ（青）が点灯します。
- ③ 採血終了後、加圧を解放するときは、本体またはリモートスイッチの [START/RELEASE] ボタンを押します。



圧力を解放するには

本体またはリモートスイッチの [START/RELEASE] ボタンを押します。

6

アフターサービスと保証

ご購入された販売店または下記お問合せ先にご相談ください。

保証書について

- 保証書の「販売店、ご購入日」などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。

サービスと保証

- 正常な使用状態において故障した場合、ご購入日より 1年間、無料で修理します。
- 保証期間経過後の修理については、ご購入された販売店または下記お問合せ先にご相談ください。
- 当社は本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 5年間保有しております。性能部品とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書	
品名	マサキカフ モデル 168A
シリアル番号*	
保証期間	本体、リモートスイッチ: ご購入日より 1年間
ご購入日	年 月 日
お客様 ご住所	販売店 住所
お名前	名称
TEL	TEL

*シリアル番号は本体、リモートスイッチ、収納ケース、化粧箱に貼付されています。

お問合せ

株式会社ドリームインポケット ヘルスケアお客様サポート

〒104-0054
東京都中央区勝どき2-8-12-1221
TEL: 050-3576-0555

<https://www.dreaminpocket.com/contact>



<お問合せ先 QR コード>

2024.3